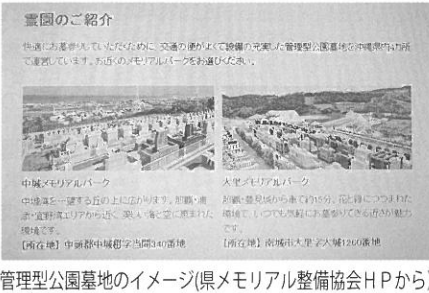


問 本町の雇用弁護士が変更と聞いたが、
答 総務部長 平成27年4月1日より、幸喜・稲山総合法律事務所の新井信先生と、ふじ法律事務所の藤田

問 墓地建設に関して、反対者や掛保久地域に
答 総務部長 この件に関しま



問 大型MICE施設の概要と本町への効果は。
答 町長 大型MICE施設、県と連携をしながら地元西原町と与那原町とも意見交換しながら取組んでいきたいと考えております。全体面積が13,9ヘクタールで西原町が7,3ヘクタールで与那原町が6,6ヘクタールです。平成29年の工事予定です。また経済波及効果は400億円、そして雇用効果は5,400人が見込まれています。

◆大型MICE施設
 ◆町の顧問弁護士
 ◆環境整備



屋比久 満 議員

問 雄士先生と法律顧問契約を
答 顧問弁護士が1人から2人になることで人件費に影響は、

問 墓地建設と環境整備の整合性について伺う。
答 総務部長 西原町墓地等の経営に関する条例施行規則第6条、別表第1に掲げる基準に適合するものでなければならぬとあります。状況、特殊の構造等から付近に公衆衛生上、支障がないと認められた場合には、この基準を緩和することができるとあります。その理由としては、事業所の地域住民に対する施設への要請、対応等、緑地を適正に設置し、施設管理等、環境もよりよくなるかと判断して許可したところでありま。

問 当該地区は、ハブも結構いまして、たびたび苦情もあり、開発によりハブ対策になり公衆衛生上、利点があるのではないかと判断も持ちしております。
答 総務課長 当該地区は、ハブも結構いまして、たびたび苦情もあり、開発によりハブ対策になり公衆衛生上、利点があるのではないかと判断も持ちしております。

問 何回かメールで墓地建設に関して、いろんな内容のメールがありました。町としてはメールよりは直接話し合いということ
答 総務課長 前任は1人で月額6万円で契約をしておりまして、今回から2人で月額3万円ずつのトータル6万円ということで、同額で契約しております。

問 西原町都市マスタープランも同年の3月に策定され、基準年度が2010年、目標年度が2030年となっている。昨今の情勢からある程度の各エリアごとの見直しが必要と考えるが。
答 企画財政課主任 5月から事務方で取り組んでおり、三役調整、各執行機関の意見照会、町長による意見集約は、今月中にも開始する考えです。

問 西原町都市マスタープランも同年の3月に策定され、基準年度が2010年、目標年度が2030年となっている。昨今の情勢からある程度の各エリアごとの見直しが必要と考えるが。
答 企画財政課主任 5月から事務方で取り組んでおり、三役調整、各執行機関の意見照会、町長による意見集約は、今月中にも開始する考えです。

問 西原町都市マスタープランも同年の3月に策定され、基準年度が2010年、目標年度が2030年となっている。昨今の情勢からある程度の各エリアごとの見直しが必要と考えるが。
答 企画財政課主任 5月から事務方で取り組んでおり、三役調整、各執行機関の意見照会、町長による意見集約は、今月中にも開始する考えです。

問 西原町都市マスタープランも同年の3月に策定され、基準年度が2010年、目標年度が2030年となっている。昨今の情勢からある程度の各エリアごとの見直しが必要と考えるが。
答 企画財政課主任 5月から事務方で取り組んでおり、三役調整、各執行機関の意見照会、町長による意見集約は、今月中にも開始する考えです。

問 西原町都市マスタープランも同年の3月に策定され、基準年度が2010年、目標年度が2030年となっている。昨今の情勢からある程度の各エリアごとの見直しが必要と考えるが。
答 企画財政課主任 5月から事務方で取り組んでおり、三役調整、各執行機関の意見照会、町長による意見集約は、今月中にも開始する考えです。

◆平和
 ◆まちづくり



喜納 昌盛 議員

問 これまでの琉球・沖縄が歩んで来た歴史は、今さらいうことではないが、国会で審議されている安全保障関連法案について、ここまで来たかと思いがする。国家権力が暴走し日本国憲法の精神である「国民主権」「絶対平和主義」「基本的人権の尊重」が踏みじられ、あえなく消えさうとしていると思えない。「戦争につながる全ての政策を許さない」これが沖縄の心情であり、「けして軍隊は住民を守らない」が歴史の実相ではないか。町長の見解は。
答 町長 最近の安全保障関連法案をめぐる政府の動きは、何かに突き動かされて

問 2012年4月1日に、西原町まちづくり基本条例が施行され3年が過ぎた。その第32条で施行後4年を超えない期間ごとに、この条例の見直しを検討するとの規定がある。どう考えているのか。
答 総務部長 町議会及び各執行機関で検証を行うことが望ましいと考えています。早期にこの検証を行わない考えを示していきたいと思っています。

問 建設部長 都市マスタープランの中で7地区に区分けが行なわれていますが、その中で一番のベラスになるのが国土利用計画の4つの区域です。臨海地域、平野地域、斜面緑地地域、第一文教地域が町の区分基本になります。次の都市マスターの見直し時にMICE施設や都市モノレール等の影響も考慮し、4区域の見直しを考慮する必要があります。
答 町の実行計画も2012年から今年まで示されたが、毎年ローリング方式は円滑に進められているのか、課題は。
答 総務部長 課題は、廃止するものと新規事業、そのバランスだと考えています。

問 町の実行計画も2012年から今年まで示されたが、毎年ローリング方式は円滑に進められているのか、課題は。
答 総務部長 課題は、廃止するものと新規事業、そのバランスだと考えています。



安保関連法案関連記事(琉球新報)

◆MICE施設
 ◆難聴児補聴器購入費助成事業
 ◆西原ファーム



長浜 ひろみ 議員

問 翁長県知事は、MICE施設の建設地を与那原・西原マリンタウン地域と発表した。MICE施設の収容規模、開業時期、経済効果等をお聞きする。
答 町長 県が2014年3月にまとめた大型MICE施設整備とまちづくりに向け基本構想、その概要版に基づいた内容は平成28年度用地取得、実施設計、平成29年工事着手、平成32年供用開始、経済波及効果は年間約150億円のオフアワーが150件と想定した場合、経済波及効果が400億円、雇用創出5,400名、多目的ホール7,500平米、展示用2万平米、中小会議室7,500平米、駐車場5

問 障がい者手帳の交付対象とならない難聴の子供の人数を調べた範囲で平成26年度町内小・中学校の聴力検査で1,000ヘルツで要精査が13人、4,000ヘルツで要精査が18人おりました。補聴器助成については県子ども生活福祉部で現在軽度、中等度難聴児補聴器購入費助成事業の要綱を作成中で町も関係課とも連携をとりながら、現状を把握し、県の要綱も確認した上で検討したいと考えております。
答 西原ファームの経営改善計画を聞く。
答 建設部長 経営改善計画の主な内容は、一点目に西原ファームが取り組んできた耕作放棄地解消事業を耕作

問 契約農地の最小坪数と最大坪数、1年間の最小土地料と最大土地料、年度別の収益を聞く。
答 建設部長 最小坪数79坪、最大坪数988坪、最小土地料4,740円、最大土地料5万9,320円。平成24年度収益53万7,000円、平成25年度収益970万円、平成26年度収益42万7,450,000円です。

MICE施設整備で想定される効果(県資料から)

経済波及効果	約1,400億円/年
雇用創出効果	約5,400人/年
観光客誘致効果	約100万人/年
税収増進効果	約10億円/年
観光客誘致効果	約100万人/年
税収増進効果	約10億円/年

問 大型MICEについて①大型MICEを生活かしたまちづくりについて、町長の描くビジョンを伺う。②大型のプロジェクトを成功させるには、新たな組織が必要である。そこには、大型開発や観光業に精通した、民間からの登用も必要と考える。③都市マスタープラン等の見直しに急務と考えるが、今後の対応を聞く。
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 障がい者手帳の交付対象とならない難聴の子供の人数を調べた範囲で平成26年度町内小・中学校の聴力検査で1,000ヘルツで要精査が13人、4,000ヘルツで要精査が18人おりました。補聴器助成については県子ども生活福祉部で現在軽度、中等度難聴児補聴器購入費助成事業の要綱を作成中で町も関係課とも連携をとりながら、現状を把握し、県の要綱も確認した上で検討したいと考えております。
答 西原ファームの経営改善計画を聞く。
答 建設部長 経営改善計画の主な内容は、一点目に西原ファームが取り組んできた耕作放棄地解消事業を耕作

問 障がいのある方々と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増



問 ②について、要約筆記のサービスはないのか、問う。⑤CSWも増やしていくべきと考えるが。
答 介護支援課長 ②登録要約筆記者が5名おります。⑤住み易いまちになる為に、お隣近所への声掛けを地域でやってもらいながらCSWや安全網を作っていくと考えております。

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増

問 大型MICE誘致決定 将来のビジョン！
 ◆障がいのある方と共に生きる！
答 町長 小波津川河畔まちづくり計画を中心とした商業・住宅用地の整備、国道329号バイパス等の道路整備と合わせて企業の受入れ体制を作っていく。また、さらさらビーチや沖繩CGと連携し観光客の増